



甲山 頂上周辺から 阪神間の眺望

### 1. 仲間と「大学卒業 40 年」文集作り

私の仲間はみんな 60 の定年を過ぎ、それぞれが、今までとは違った次の生き方をはじめた年。いろいろな思いが、飲み会で語られた年でした。

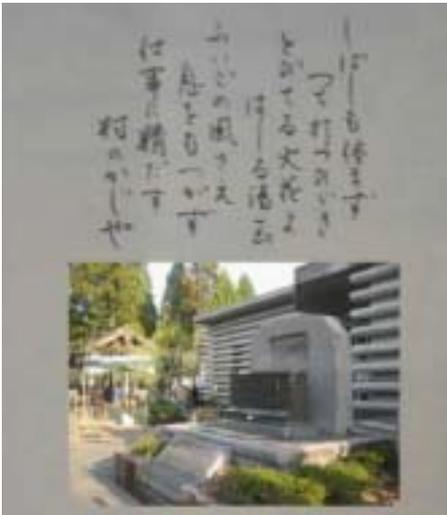
「卒業 40 年の軌跡」をまとめよう」とせっせと文集づくりに参画して……

知っているようで、知らなかつた意外な仲間の軌跡。送られてくる原稿にのめりこんでしまって……。おかげで、多くの仲間とメールを通じて接触して、また、新しい元気をもらいました。

13 日より、神戸では「ルミナリエ」が始まり、来年は「阪神淡路大震災 10 周年」。

「いつまでも過去をふりかえっていても。。。」の声もありますが、本当に仲間を「まじかに」感じたのは久しぶり。ふと「立ち止まって考えることの大事さ」を感じた文集作りでした。

### 2. 「和鉄の道」 鍛冶屋の祭り 鞆祭



小学唱歌「村の鍛冶屋」歌碑  
三木市金物神社境内 金物資料

「しばしも 休まず、槌打つ響き とびちる火花よ 走る湯玉  
ふいごの風さえ、息おもつかず 仕事に精出す 村の鍛冶屋」

ついで 口ずさむこともなく、忘れていた小学唱歌「村の鍛冶屋」である。

金物の街 兵庫県三木市の金物神社境内にある金物博物館前に「ふいご」をかたちどったこの「村の鍛冶屋」の歌碑がある。

旧暦 1 月 8 日は鍛冶屋の祭り「鞆祭り」。今では新暦の 1 月 8 日に日本各地で鞆祭りが行われることが多いという。江戸では鍛冶にかかわる人たちが、仕事を休んで、風を送る道具「鞆」を祭って、仕事の繁栄と防火を祈り、街の子供たちにみかんをばら撒き一緒に鞆祭りを祝ったという。

この鞆祭のみかん 紀伊国屋文左衛門は強い季節風をものともせず、江戸へむけ船を出し、財をなしたという。東京 鍛冶屋の街「神田」でも神田明神で鞆祭りが行われるという。

ぜひ一度 この鞆祭りを見たいと思いながら、機会がなかったのですが、やっとこの鞆祭りを 2ヶ所で見学してきました。

- 「村の鍛冶や」の歌碑がある金物の街 兵庫県三木市「金物神社」の「ふいご祭り」
- 鉄・金属屋の守り神 金山彦命を祭神とする岐阜県垂井 「南宮大社」の「金山祭・ふいご祭り」と「古式鍛錬」 「南宮大社」は伊吹山と鈴鹿の山脈に囲まれた関が原の美濃側の出口にある。

今 私の興味は たたら製鉄が始まる 5,6 世紀以前 日本誕生に大きくかかわった 「先たたら」の製鉄技術の存在。多くの古代伝承の中にそれを見る。

「鞆祭り」の中にも そんな和鉄の歴史の痕跡を残していると考えられる。

11月8日は「鍛冶屋」の祭り 日本各地で「鞆祭り」があった



岐阜県垂井 南宮大社 金山祭 鞆祭り 古式鍛錬 2004.11.8.

岐阜県垂井町 南宮大社 金山祭の地 伊吹山の山麓 美濃も そんな古代の中心ではないか・・・  
北東には美濃国府があり、直ぐ横には大前方後円墳群 そして赤鉄鉱を産する金生山があり、これらの関連が南宮大社へつながっている。

また、越・北近江から伊吹・美濃・尾張と続く地は大和と方を並べる産鉄の渡来人・豪族たちの根拠地。そこで継体天皇が擁立されたととえられる。

南宮神社の南東養老の地は壬申の乱の天武天皇と関係深い産鉄の地でもある。

大海人皇子（天武天皇）は大和吉野から軍をひきいて隠（名張）から伊勢・美濃を経て、近江の京に迫り、近江軍を破って天皇の位につく。

そんな思いで 南宮大社の古式鍛錬式・鞆祭りを見ていました。

鞆祭りを見学したあと 美濃 古代の道 東山道(中仙道) を Country Walk。金生山にも登って、美濃の国の鉄を訪ねました。

九州の装飾古墳群 そして、この美濃の国 日本誕生とかかわる産鉄の地 そして それらを支配する豪族がそれぞれ日本誕生に連合・参画していったのではないか・・・

まだ、整理はしていませんが、美濃の国 Country Walk も楽しい旅でした。

まず、第一報 鍛冶屋の祭り 「鞆祭り」見学記をまとめて 「和鉄の道」に掲載しました。

### 3. 子供のころから慣れ親しんだ 六甲の東端 コニーデ型の火山「甲山」 2004.12.8.

「甲山」六甲山系の東の端にこんもりとお碗型をした小さな山がある。阪神間で育った人たちでは誰でも知っている山で 何度か遠足にピクニックに また幼い時の冒険の地でもあった。

尼崎で育った私には 六甲連山を背後に朝な夕なに眺め、一番親しい山である。



西宮市街地から甲山を望む 甲山から阪神間の市街地 2004.12.9

でも 歩いてみて、その変貌にビックリ。

私らの知っている「甲山」からはまったく違っていましたが、昔を楽しみながらの気楽な WALK でした。ぶらぶらと約 3 時間ほど西宮市街から 上ヶ原から甲山に登って神呪寺におりて、大師道を下ってまた西宮の街へ 気持ちのよい午後の WALK でした。

でも 毎日通っていて よく知っているつもりが、こんなに変貌しているなんて、驚きでした。

時間の重みを感じながら昔をたどる walk。

おそらく、こんな道は誰もが持っている故郷の道なのでしょう。

久しぶりに 西宮の市街地に足を踏み入れたとたん 自然と甲山に足を向けていました。

車では絶対に感じられない WALK。おすすめの Country Walk でした。

甲山の散策も気楽でいいですよ ぜひ 一度 街中を歩いてみては・・・

#### 4. 陶房葉月便り (萩焼の陶房 葉月 田中講平先生のホームページ)

2004.11.19. 一緒にインターネットを楽しんでいる山口市吉敷の萩焼 陶房葉月の田中講平先生を家内と二人で訪ねました。

「陶房葉月」秋の陶芸教室生徒作品展がちょうど スタート。

インターネットで「インターネット 陶芸教室作品展」やろうという企画のホームページ製作を一緒に楽しみました。

みんな すばらしい作品ばかりで、中央の公募展に応募する人もいるか・・・ 深まり行く秋を陶房葉月で一日過ごして帰りました。



また、萩開府 400 年記念「萩の陶芸家たち」展を県立萩美術館をみてきました。

萩の大家から気鋭の作家まで、本当に惚れ惚れする作品がならび、その中に田中講平先生の作品も堂々と位置を留めていました。

萩の各種技法の最高峰決してとどまっていない技術のすばらしさ そして 奥行きの高さに歴史を感じ感動。萩のよさ やつぱり、現地で 実際に見て・・・すごい感動でした。

この展覧会の目録として出版された「萩の陶芸家たち」の本を買ったのですが、108 人の陶芸作家の代表作とともに、萩焼きのすごい苦難の歴史がまとめられていました。

ぼくらは伊万里の李三平の歴史は見聞きするのですが、同じような歴史 萩でも 薩摩でも あったこと知りました。和鉄の歴史 朝鮮半島交流史 そして その後のたたら歴史と重なって、非常に興味津々。一度きっちり 調べたいと思っています。

#### 5. 「地球おはなし村」便り <http://www.k2.dion.ne.jp/%7Ehazuki/tgkyo00.htm>

やっと「地球おはなし村」のホームページが立ち上がって、11月20日 大阪十三の教会でのチャリティー公演「地球おはなし村」とバザーが開催。僕は当日山口からとんぼ返りで参加するだけでしたが・・・。

多くの人に支えられ、西アフリカ ペット村の井戸掘り募金もだいぶ集まったようです。

最後はいつものとおり、ジャンベの太鼓のリズムで輪になってみんなで 手拍子・膝を打って 踊って・・・これがあるから やめられない。



2004.11.20. チャリティ公演「地球おはなし村」で

一度「地球おはなし村」の活動に参加しませんか・・・

また、ご協力いただいている西アフリカ ペツテ村井戸掘り募金も引き続きよろしく  
内容は 「地球おはなし村」のホームページをぜひ ご覧ください。

- 地球おはなし村ホームページ
- 西アフリカ 北部カメルーン・ペツテ村 井戸掘り募金にご協力を  
水の少ない北部カメルーンの地で しかも人口爆発により  
益々環境が悪化し、子供たちが苦しんでいます  
きれいな水を !!  
井戸掘り募金にご協力をお願いします

2004.12.15. by Mutsu Nakanishi